



ほたる祭り



ゲンジボタルの幼虫上陸  
 (4月26日初確認)

冬の間に川の中で  
 すこした幼虫  
 は、春の雨の夜  
 上陸を始め、羽  
 化に備えます。

伝承センターのホーム  
 ページでは、一の坂川  
 のゲンジボタルの発生  
 状況を掲載していま  
 す。6月3日には「ほ  
 たる祭り」が開催され  
 ます。



**ほたる祭り ~ほたるのタベ~**

日 時： 6月3日(土)  
 場 所： 伝承センター、C・S赤れんが前  
 一の坂川多目的広場・交通交流広場  
 ほか

＜伝承センター会場＞

- ゲンジボタルの飼育ビデオ上映
- 大殿小児童によるゲンジボタル関連作品展示
- 灯りの競演 ランプシェードの展示
- 陶芸品のチャリティー販売
- 伝承センター各教室の作品展示・販売
- お茶席
- 蛸かごワークショップの開催  
 蛸かごランタンの展示
- 出来たてメロンパン出張販売

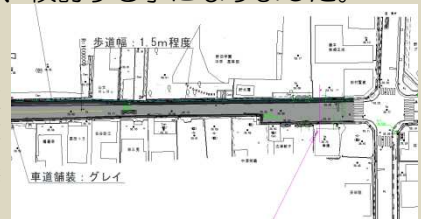
※ 混雑が予想されますので、なるべく公共交通機  
 関の利用やお乗り合わせにてお越しください。

まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

**大内文化特定地域内の市道再整備計画始まる！**

今までもご紹介してきた地域内の新たな景観づくりもいよいよ第一次整備箇所的设计案が、地元で組織されるまちなみ協議会へ示され検討されました。下図はその一部の大手町野田線・築山小路付近の市道整備案ですが、一の坂川と同系統の路盤に加えて素材を変えた視覚的な歩道を十分に確保し、車優先でなく歩行者に優しい路の在り方を目指しています。又、側溝なども歩きやすい形状のものを選択する予定ですが、住民の側からも溝掃除等メンテナンス対応への要望があり、検討する事になりました。

この様に設計段階での修正作業を協働で行いながら今年度末まで、幾つかの工事着工を目指して協議を重ねて行きます。



指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~



### ⑩長山古城

慶長4年(1599)山口を領地とした毛利秀元が長山(現亀山)に城を築きますが、関ヶ原後秀元は長府へ移り、未完成におわりました。五十鈴川から水を引き入れ山の周囲をめぐる濠が描かれています。

### ⑪平蓮寺

今の市役所の辺りにあった寺院で、亀山の南側の丘は平蓮寺山とも呼ばれました。大内家代々の祈禱所といわれ、山口七葉師のひとつとされました。明治に神光寺と合併しました(現神福寺)。

### ⑫御茶屋

藩主や要人の滞在施設。御茶屋橋を渡った辺りやC・S赤れんがを含む一帯にありました。宝暦13年(1763)火災による再建時、それまで檜皮葺だったのを茅葺に替えたようです。

### ⑬今天神

古熊神社の江戸時代の古称。応安6年(1373)大内弘世が京都の北野天神から分霊を勧請したものと伝えられ、菅原道真を祭神とします。松の木町を経て駅通りに至る道を天神通りといい、山口天神祭の御神幸祭で神事が執り行われる御旅所があります。

### ⑭端坊

浄土真宗本願寺派。16世紀後半に京都端坊9世明念が建立しました。正徳2年(1712)正午を知らせる時鐘堂がつけられました。

### ⑮円満寺

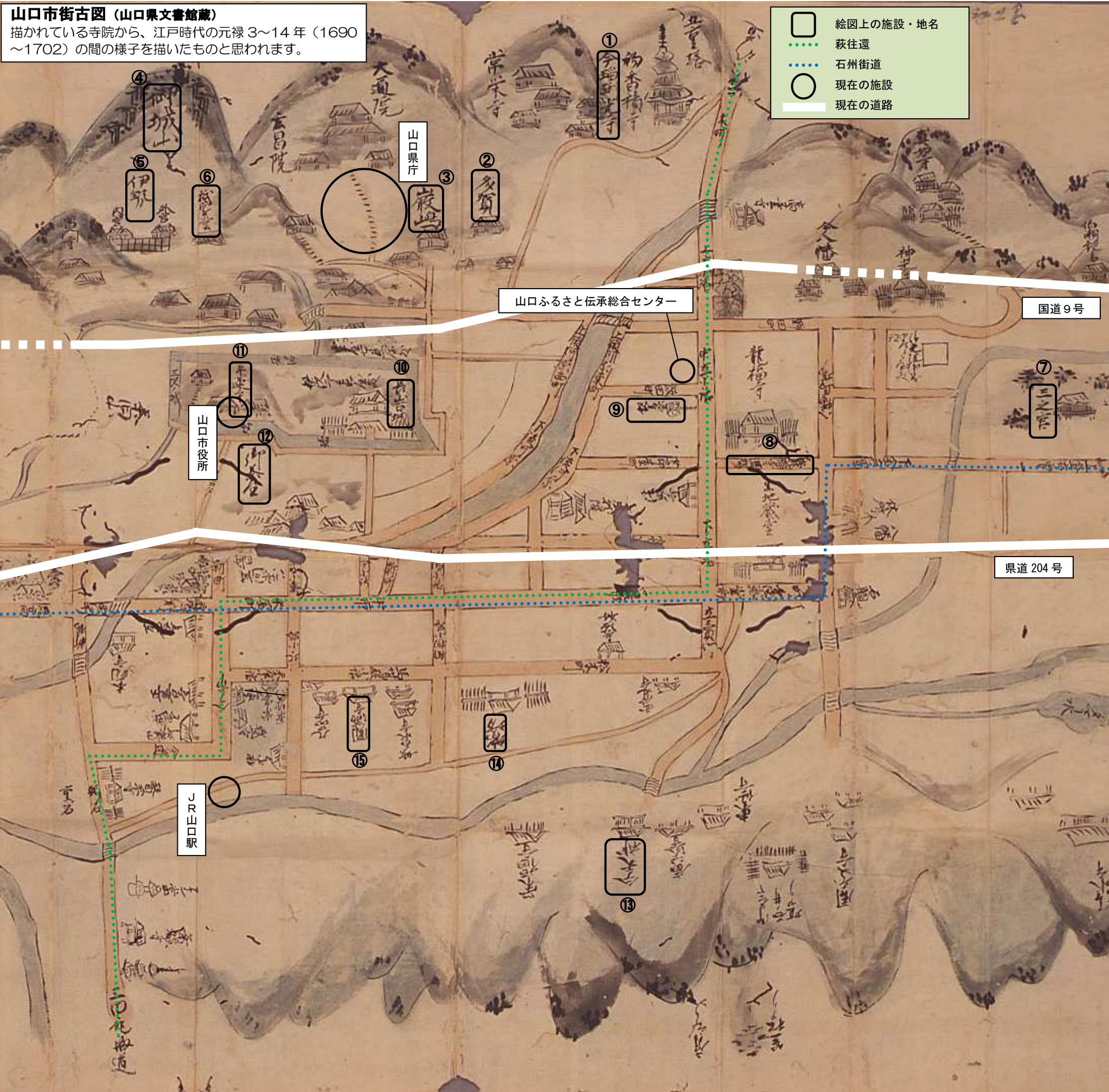
日蓮宗。元禄14年(1702)馬場殿小路から吉敷村に移転しており、それ以前の図と思われます。

### 萩往還と石州街道

慶長9年(1604)萩城築城後、城下町萩と三田尻を結ぶ参勤交代の「お成り道」として、約53kmにおよぶ萩往還が整備されました。山口町には御茶屋や本陣などが設けられ、毛利のお殿様はじめ総勢1000人も参勤行列を迎えました。

石州街道は山陽道との分岐点・小郡津市から徳佐の野坂峠に至る、石見国(島根県西部)へ通じる道。他国からの「西のお伊勢さま」詣でも利用されました。

山口町は2つの「大道」が交わる交通の要衝でした。



### ①瑠璃光寺

陶弘房の菩提寺として文明3年(1471)仁保に創建(当初安養寺)、元禄3年(1690)香積寺跡のこの地に移されており、この図はそれ以降のものと考えられます。中国地方有数の名刹として知られました。

### ②多賀(社)

近江の多賀大社の分霊を勧請した古社で、永和年間(1375~79)大内弘世が社殿を建立、大内氏・毛利氏から厚く崇敬されました。昭和24年山口大神宮境内に遷座。延寿・安産の神様として親しまれてきました。

### ③殿島(社)

応永14年(1407)安芸国宮島より大内盛見が勧請したと伝えられます。元治元年(1864)藩主御屋形造営に伴い、現在の地(宮島町)に移されました。室町時代頃の多宝塔があります。

### ④御城山(高嶺城跡)

毛利氏の侵攻に備え弘治2年(1556)大内義長が、山口盆地を見渡すことができる鴻ノ峰に築城をはじめ、大内氏滅亡後は毛利氏の支城として城番が置かれました。慶長20年(1615)の一國一城令を受けて破却。城跡には曲輪や石垣、礎石などが残されています。大内氏館とともに「続日本100名城」に選ばれました。

### ⑤伊勢

伊勢から神霊を勧請された現山口大神宮は「高嶺太神宮」「今伊勢」と称せられ、九州や中国地方西部から多くの参詣者が訪れ「西のお伊勢さま」とも呼ばれました。昭和22年今の社号に改められました。

### ⑥祇園堂

大内義興が永正17年(1520)大神宮を勧請した際、祇園社(現八坂神社)もこの地に移し新築されました。

### ⑦三之宮(仁壁神社)

平安時代の記録が残る古社。大内義興は九州での戦陣から戻り、周防国五社詣でに。一の宮(防府の玉祖神社)・二の宮(徳地の出雲神社)をへて三の宮の仁壁神社にも参詣し神馬を寄進しました。

### ⑧龍福寺馬場

今の大殿大路。

### ⑨観音堂

木彫りの観音様は大内弘世の奥方の念持仏と伝えられ、大内輝弘の乱で兵火を被りながらも焼失せず、参詣者が絶えなかったといわれます。



# 6月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	1	2	3
				ほたる観賞Week!	ほたる祭り準備	ほたる祭り
				和裁	レザー①	
4	5	6	7	8	9	10
ほたる祭り片づけ	和裁	お魚料理	お魚料理	レザー②	レザー③	大内塗 着付
	和裁 型染①	トール	ハッチ③	和裁	ハッチ②	鶴流 鶴流
					手織 大内塗	
11	12	13	14	15	16	17
こども茶の湯	和裁 型染	お魚料理 トール	お魚料理 陶芸A	陶芸B	手織 陶芸B	
	和裁 型染②	陶芸A	ハッチ①	染色	和裁 レザー①	鶴流 竹細工
18	19	20	21	22	23	24
竹細工	和裁		竹細工	レザー②	レザー③	大内塗 着付
竹細工	和裁 型染③	トール	ハッチ③	染色	和裁	鶴流 鶴流
					手織 大内塗	
25	26	27	28	29	30	7/1
こども茶の湯	型染	トール		そば打ち体験		
	型染④	和裁		和裁		
			ハッチ①			

## 体験講座等のご案内

### 布ぞうり講座

古布を使い布ぞうりを一足編みます。  
(編み台も販売します)

日時：6月24日(土)  
9時～15時

講師：矢野 喬氏 (布草履工房主宰)  
定員：先着8名  
(小学生は要保護者同伴)

受講料：1000円



### そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り  
日時：毎月最終週、6月は29日(木)  
13:30～16:00

定員：14名(抽選にて選定)  
体験料：1000円(材料費含む)



## ホタル歌碑が建立されました

昭和10年(1935)12月24日、国の天然記念物に指定された「山口ゲンジボタル発生地」は、愛知県の岡崎とともに、現存する最も古い指定地です。指定80周年記念として大内ホタルを守る会により、大内政弘公の和歌「潤底螢」歌碑建立が実施されました。「潤底螢」は真つ暗な谷底でのホタルの卵や幼虫の発光を詠んだものとして、大内文化の風流の極みと評価されます。

一の坂川畔、琴水橋上手左岸の、政弘公菩提寺跡を擁する法泉寺山を望む植え込みで、昨年12月23日に地鎮祭起工式が行われ、今年のほたる観賞Week!初日6月1日除幕・贈呈式が行われます。



## 夏休みものづくり体験

### 陶芸

手ロクロで湯呑みなどを一つ作ります。  
日時：7月15日(土) ①10時～12時  
②13時～15時  
対象：小・中学生①②各回15名  
(先着順、小学生は要保護者同伴)  
材料費：500円



### 大内塗

ビデオ鑑賞と説明の後、箸作りを体験。  
日時：7月22日(土) 13:30～15:00  
対象：小・中学生50名  
(先着順、小学生は要保護者同伴。保護者の方も参加できます)  
材料費：860円(作品の宅配は送料実費負担)



### 木工

木製キットを組み立て、ヨーロッパ風住宅のペン立てを作ります。  
日時：7月23日(日) ①10:00～12:00  
②13:30～15:30  
対象：小学生①②各回20名  
(抽選、小学生は要保護者同伴)  
材料費：1000円



申込受付：6月18日(日)9時から  
(木工・そば打ち体験受付は6月20日(火)まで)

## まなび館に手すりが設置されました

まなび館の、たくみ館に面した蔵そばから、和室への上り口は、段差があり足の不自由な方に負担のかかるつくりになっていました。この度、補助用の手すりを取りつけ上り下りしやすくなり、利用される方も喜ばれていました。



## 山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12  
TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877  
E-mail y-densho@c-able.ne.jp  
URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間  
9:00～17:00  
入場料 無料